

Ⅲ 東京湾赤潮・青潮調査

東京湾の赤潮・青潮の発生状況については、公共用水域水質測定計画に基づく調査、環境研究センターによる東京湾水質調査及び水質調査船「きよすみ」の巡視等による観測から把握しており、その結果は以下のとおりである。

1 赤潮について

赤潮の判定は表3-1で示される「赤潮の目安」を参考に判定しており、平成22年度における月別発生回数は表3-2のとおりである。

表3-1 千葉県における赤潮判定の目安

色 相	オリーブ系～ブラウン系
透 明 度	1.5m 以下
クロロフィル a	50 μg/L 以上
溶存酸素飽和度	150%以上
pH	8.5 以上

表3-2 月別赤潮発生回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
調査回数	4	4	5	2	4	4	4	3	5	4	3	3	45
発生回数	0	2	2	2	3	2	2	0	0	0	0	0	13
発生割合 (%)	0	50	40	100	75	50	50	0	0	0	0	0	29

2 青潮について

青潮発生時には現場調査を行い、発生範囲等を確認している。

平成22年度の青潮発生状況は表3-3の、過去5年間の発生状況は表3-4のとおりである。

表3-3 平成22年度青潮発生状況

発生日	発生水域（最大時）	漁業への被害等
9/9～9/10	市川～船橋沖、千葉中央港、新港	なし
9/15～9/21	千葉港、幕張沖、船橋港、市川航路（三番瀬を含む）	あり（※）
9/24～9/29	千葉中央港、幕張沖～茜浜沖、船橋航路（三番瀬を含む）、船橋港	あり（※）

（※）漁業被害については、アサリ資源量の総計4,750トン（斃死率88%）が斃死したと推定されました。

表3-4 過去5年間の青潮発生状況

年 度	18	19	20	21	22	5年間平均
回 数	1	3	3	2	3	2回
延べ日数	7	8	11	5	15	9日